

令和6年度 災害廃棄物処理担当者向け研修会 (近畿ブロック)

「能登半島地震で改めて明らかになった 災害廃棄物処理の課題を考える」

日時：令和6年9月5日（木）13：30～16：20

場所：AP大阪梅田東 Mルーム

(オンライン同時配信)

プログラム

- ◆主催者あいさつ (13:30～13:40)
環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎
- ◆講演1 (13:40～14:50)
- ◇休憩10分
- ◆講演2 (15:00～16:10)
- ◆閉会 (16:10～16:20)

講演概要

◆講演1 (13:40～14:50) (講演 60分 / 質疑応答 10分)

「能登半島地震の現状とし尿処理に関する課題と対策」

林 篤嗣 (近畿地方環境事務所 資源循環課 課長補佐)

<講演概要>

能登半島地震では、道路や上下水道などのインフラが甚大な被害を受けたほか、し尿処理施設も稼働停止した。このため、広域的な処理対応に課題が生じたほか、地盤の隆起等により、災害に強いと言われる浄化槽の被害も確認されている。能登半島地震で確認されたし尿処理の課題をもとに、近畿ブロックにおいても今後必要となる対応について説明する。

◆講演2 (15:00～16:10) (講演 60分 / 質疑応答 10分)

「熱海市伊豆山土石流災害 と 能登半島地震 から学ぶ 公費解体制度について」

野口 真道氏 (熱海市 市民生活部協働環境課環境センター 主査)

<講演概要>

令和3年7月に発生した熱海市伊豆山土石流災害における対応や、その経験を生かして人材バンクとして支援された令和6年能登半島地震の公費解体について、当時の状況や対応、復旧までの経緯、経験から得られた課題、対策などについて紹介する。

主催：環境省近畿地方環境事務所